

- (2)「権限によらないリーダーシップとは何か」
日向野 幹也(早稲田大学グローバルエデュケーションセンター教授)
- (3)「心理的安全性を確立するためにリーダーに求められることー看護の立場からー」
坂本すが(東京医療保健大学副学長)
- (4)「エビデンスに基づいたチームトレーニング：チームSTEPPS」
種田 憲一郎(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部上席主任研究官)

※教育セミナー1「医療安全」への参加は事前参加登録制です。第26回学術総会ホームページからお申し込みください。

※教育セミナー1「医療安全」を受講された参加者には履修証明を発行します。

6月22日(土) 13:25~14:55 I会場

2. クリティカルパス「クリティカルパスを使っているだけではありませんか？」

演者：勝尾信一(つくし野病院名誉院長)

座長：安永幸枝(九州大学病院看護部副看護部長)

◆メインシンポジウム

6月21日(金) 9:35~11:35 SS会場

「地域と共に質の高い、安全な医療をつくる」

座長：矢野 真(日本赤十字社総合福祉センター所長)

小松康宏(板橋中央総合病院副院長/群馬大学名誉教授)

- (1)「医療の質・安全の新たな方向と患者参加型医療」
小松康宏(板橋中央総合病院副院長/群馬大学名誉教授)
- (2)「医療の質向上のための日本赤十字社の取り組み」
矢野 真(日本赤十字社総合福祉センター所長)
- (3)「ブランディングにおけるグッドソーシャルの取り組み」
松本 卓(合同会社つなぐ代表)
- (4)「チーム医療とICT化の限界」
田中聖人(京都第二赤十字病院特任院長補佐)

◆会長特別企画

6月22日(土) 10:10~12:10 I会場

地域医療構想の今後

座長：松田晋哉(産業医科大学公衆衛生学教授)

長谷川学(京都府健康福祉部部長)

- (1)基調講演「都道府県行政から見た地域医療の課題」

長谷川学(京都府健康福祉部部長)

- (2)「次世代の地域医療構想」
原 祐一(日本医師会総合政策研究機構副所長)
- (3)「10年後・20年後の地域医療を守るための赤十字病院グループの取組」
牧野憲一(旭川赤十字病院院長/日本赤十字社院長連盟会長)
- (4)「急性期病院を中核とした医療福祉複合体による地域への貢献」
園田孝志(済生会唐津病院院長/全国済生会病院長名誉会長)
- (5)「地域医療構想の「これまで」と「これから」」
織田正道(織田病院理事長)
- (6)「地域医療構想における医師確保の課題と対策の方向性」
大屋祐輔(琉球大学病院院長/全国医学部長病院長会議/地域の医療及び医師育成の在り方に関する委員会委員長)

◆シンポジウム

6月21日(金) 9:35~11:35 A会場

1. 新興感染症流行期の医療連携

座長：山下博徳(国立病院機構小倉医療センター院長)

石丸敏之(福岡赤十字病院感染症内科部長)

- (1)「新興再興感染症に備えた地域の感染対策」
忽那賢志(大阪大学大学院医学系研究科感染制御学教授)
- (2)「コロナ禍に学ぶ、これからの医療連携」
野田 英一郎(国立病院機構九州医療センター広域災害・救命救急センターセンター長)
- (3)「新興感染症の発生に慌てないために」
古宮伸洋(日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部長)
- (4)「保健所と医療機関との連携のあり方～新型コロナウイルス感染症を通して～」
有門 美穂子(北九州市保健福祉局保健所医務薬務課長)

6月21日(金) 9:35~11:35 B会場

2. 医療従事者の地域偏在について考える

座長：武田泰生(一般社団法人日本病院薬剤師会会長)

藤永 理恵子(福岡赤十字病院薬剤部長)

- (1)「未定」
吉田易範(厚生労働省大臣官房審議官(医薬担当))